

令和6事業年度 予算案の概要

令和6事業年度予算案は、拠出金収入、手数料収入、運営費交付金等により実施する救済・審査・安全対策の各業務に係る所要経費を適切に計上し、国の令和6年度予算案に計上されている事業を盛り込むとともに、中期計画に掲げた目標達成に必要な経費を計上している。なお、BPR・DXの観点から重点的なシステム投資を予定し、また、体制強化の観点から増員も予定しており、それにより支出予算規模が大きくなっている。

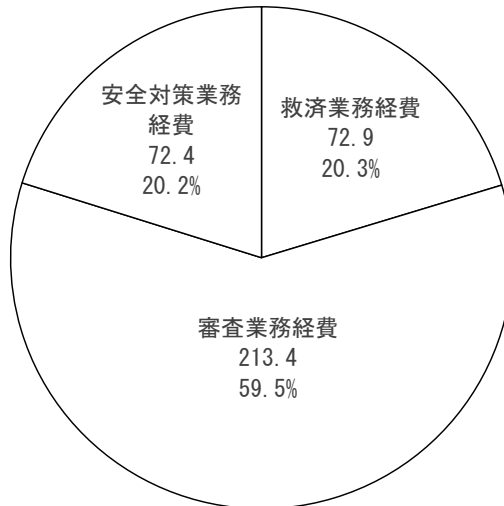
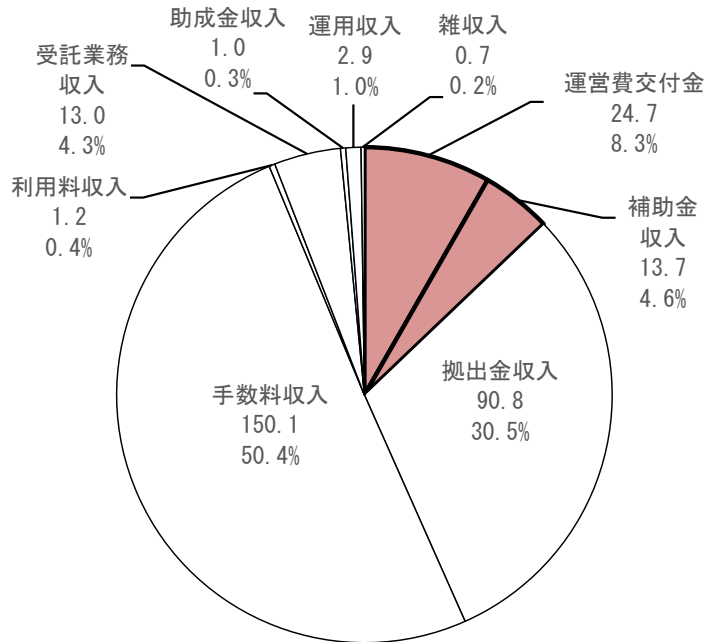
○ 予算	令和5年度	令和6年度	○ 収支計画（損益）※	令和5年度	令和6年度	○ 資金計画		
	【収入】	296.2億円 ⇒ 297.9億円		法人全体	+24.3億円 +43.8億円		総額	834.8億円
	【支出】	354.2億円 ⇒ 358.7億円		審査等勘定	+26.9億円 +44.3億円		次年度への繰越金	424.5億円
	【収支差】	△58.0億円 ⇒ △60.8億円					(前年度からの繰越金)	474.5億円

※収支計画（損益）については、第4期中期計画期間からの繰越積立金の活用（取り崩し）を前提としている。

○ 収入支出予算の内訳

【収入予算総額 297.9億円】

【支出予算総額 358.7億円】



国費の措置状況

(単位: 億円)

	令和5年度	令和6年度	増減額	主な要因
合計	35.3	38.4	+3.1	
審査等勘定	32.2	35.0	+2.8	
運営費交付金	23.3	24.7	+1.3	医薬品国内開発伴走事業費の増(+0.4)等
国庫補助金	8.8	10.3	+1.5	小児・希少疾病用医薬品等薬事相談センター事業費の増(+0.8)等
救済関係勘定	3.1	3.4	+0.2	
国庫補助金	3.1	3.4	+0.2	救済業務システムオンライン化事業費の増(+0.2)

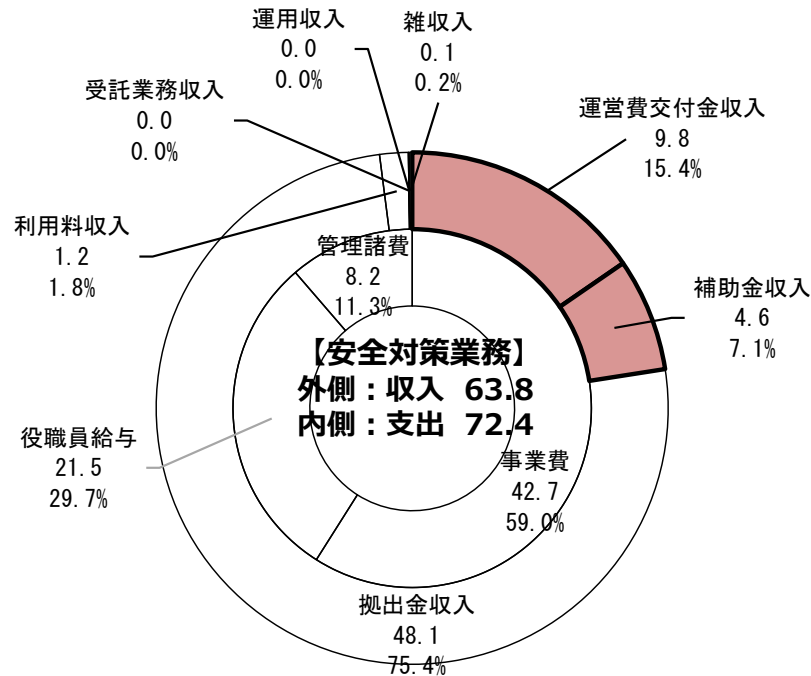
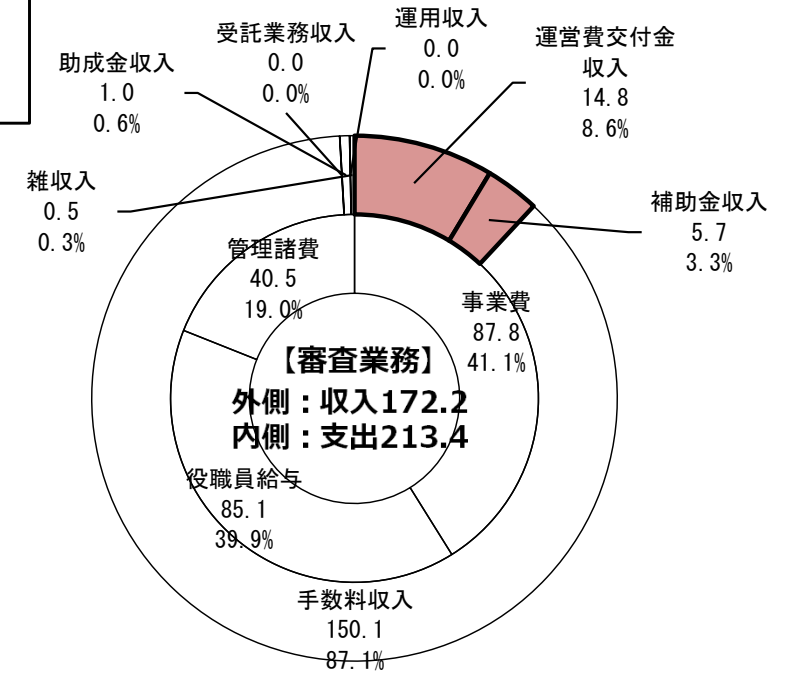
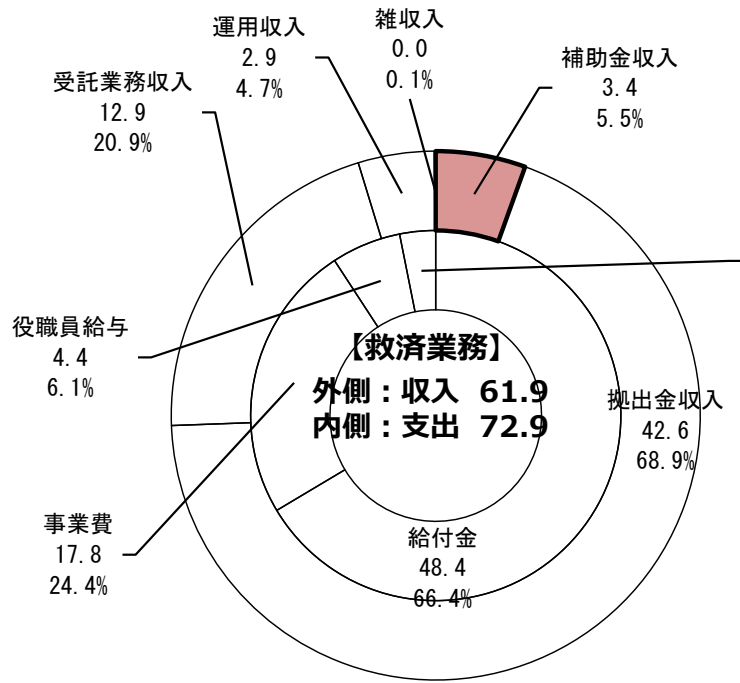
※令和6年度予算のカッコ書きは、令和5年度補正予算で予防接種事務デジタル化等事業やアジア医薬品・医療機器トレーニングセンター事業等が前倒し措置されたもの

【注】計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数においては合計と一致しないものがある。

令和6事業年度 収入・支出予算案 内訳

(単位：億円)

＜法人総計＞
収入 297.9億円
支出 358.7億円



【注】計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数においては合計と一致しないものがある。

各業務システムの主な投資内容

BPR・DXの観点から、各業務システムの機能改善等を通じた業務の効率化による質の向上を実現するため、令和5年度に開発等に着手したシステムについて、令和6年度においても継続して開発等するため、同規模のシステム投資予算を計上している。

【支出予算の比較】

令和5年度	令和6年度
354.2億円	⇒ 358.7億円 (+4.5億円)
(うちシステム経費) 108.0億円	⇒ 103.4億円 (△4.6億円)

【主な投資内容】※令和5年度からの継続案件

(審査システム(Pegasus等))

- 個別データベース等で管理している情報を審査システムに統合することによる情報の一元管理(利便性向上・業務効率化)
- 審査システムにPMDAで画面生成や項目の追加等ができる汎用的な機能の構築(制度・運用変更時の柔軟な対応)
- 審査システムの基盤及び既存のソフトウェアの更改(リプレイス)

(安全システム(副作用・安対統合システム等))

- 副作用報告等の受理業務の効率化(職員の負担軽減、業務効率化)
- RPA技術等による整理・調査業務のサポート(職員の負担軽減、業務効率化)

(救済システム(拠出金システム、救済業務システム))

- 拠出金の申告・納付手続きのオンライン化(申告・納付者とPMDA双方の負担軽減)
- 救済業務における複数のシステムの統合と最新IT基盤への移行、追加機能の開発等(業務効率化・高度化・デジタル化)